

家族の始まり

シリーズ・家族



創世記2～3章

- まずアダムが創造された
- 彼の助け手を探したが見つからなかった
- アダムからエバが造られた
- まずエバが神の命令に背き、アダムも背いた
- 二人は神から隠れ、言い訳した



家族の目的

- 「人が**独り**でいるのは良くない」
 - 人は独りでは成長しないから
- 「**彼に合う**助ける者」
 - 「助ける者」: 支配者でもなく奴隷でもない
- 「**あばら骨**」から造られた
 - 頭脳でも道具でもなく心の支えとして
- 「二人は**一体**となる」
 - 夫婦だけの目標ではない



最初のつまずき

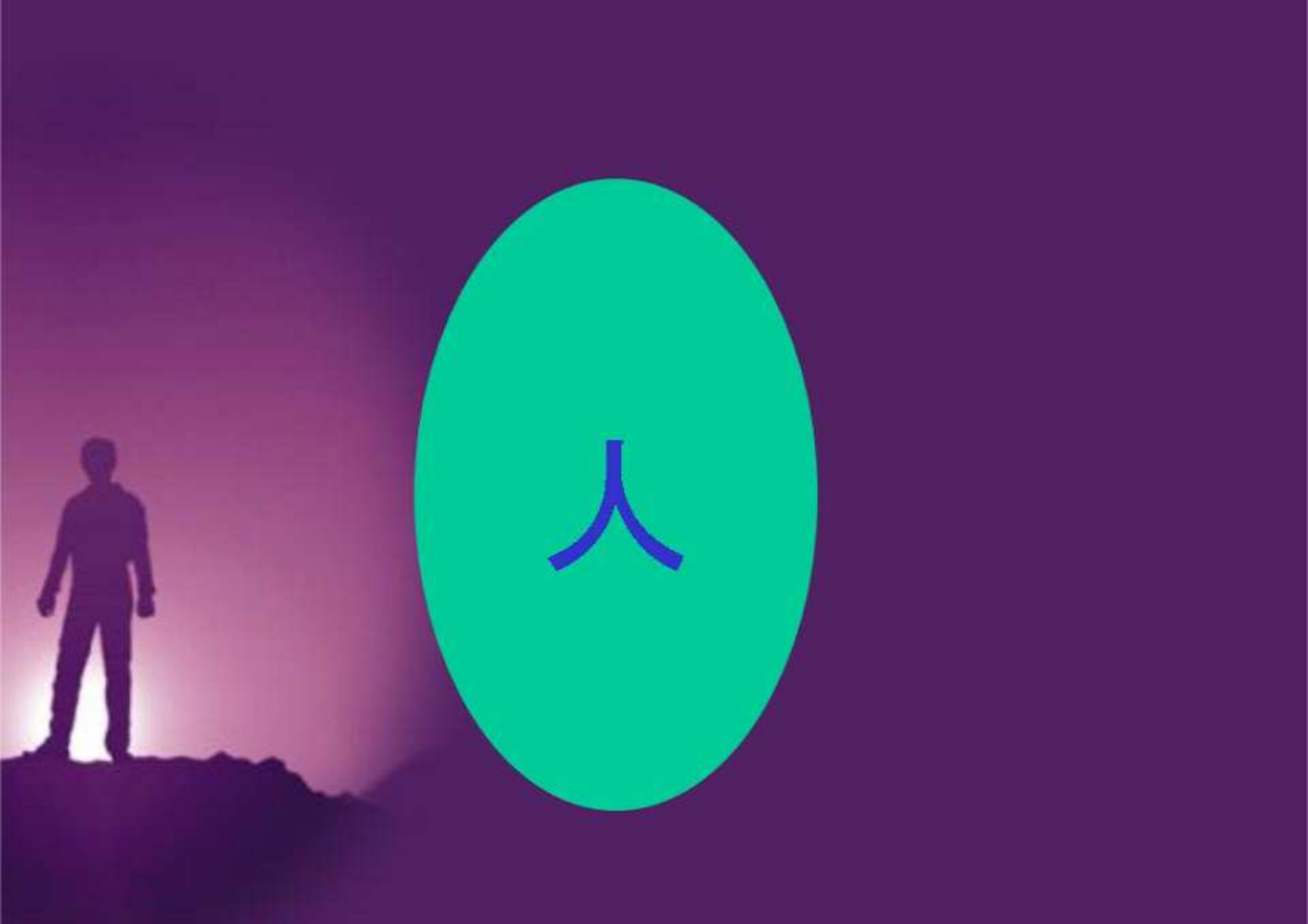
- 神の命令に背いた
 - 蛇に誘惑されてエバが禁じられていた木の実を食べ、アダムも食べた
 - 助け合うどころか足を引っ張り合った
- 自分を隠した
 - いちじくの葉で腰の覆いを作った
 - 神から隠れようとした
- 自分を正当化し、責任を転嫁した
 - エバが悪い・エバを造った神が悪い



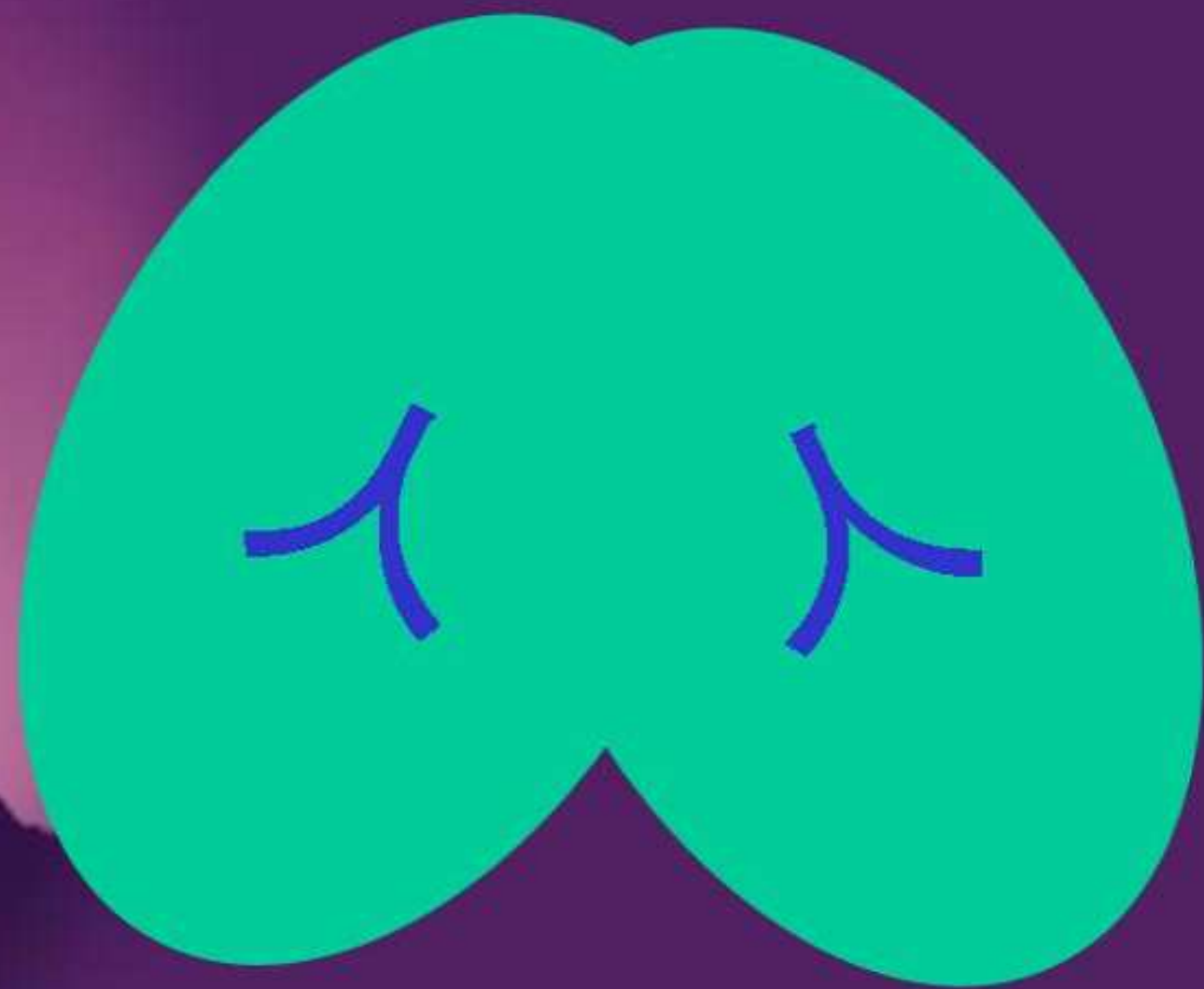
神による修復

- 「皮の衣」(3:21)を作って二人に着せた
- 「皮の衣」は動物の命の代償
- 犠牲を身にまとう

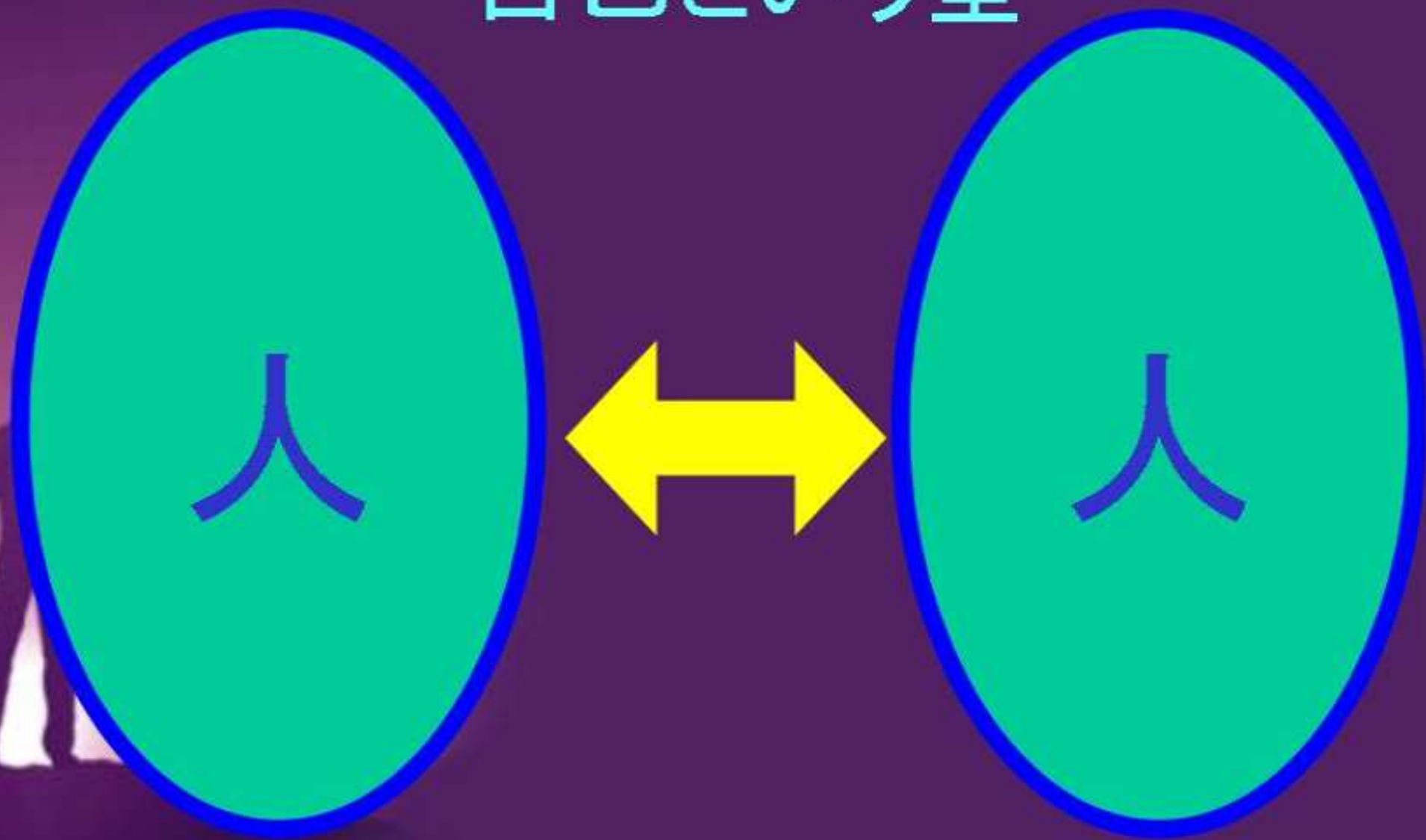




助ける者



自己という壁



回復の法則

人

犠牲

人





仰げ 主の御顔

あお み かお
仰げ 主の御顔

たどれ 主のあと

祈れ 御心を 憩え 御腕に